

一以貫之

平成29年度 敦賀気比高等学校 第1学年
学年通信 第7号 平成29年10月3日(火)

(いちいかんし) 「一を以って之を貫く」とも読みます。
孔子の『論語』にある言葉で「一つの思いを 曲げずに貫き通す」という意味です。
自分がこれと思ったことは、諦めずに最後まで頑張り通しましょう！

じっくり考えてみませんか

読書の秋？食欲の秋？芸術の秋？いろいろと言われますが、みなさんはどんな秋をすごしていますか？

夏のうだるような暑さも弱まり、朝晩などは肌寒いくらいの日もありますが、過ごしやすい気候になってきました。物事に落ち着いて取り組んだり、いろんなことをじっくり考えたりするのも一番良い季節なのではないかと思えます。

この時期は、3年生の先輩方の中には就職試験を終え、内定をいただく人も増えてきますし、進学についても推薦入試で勝負する人たちがいよいよ本番を迎えます。みなさんの中には、自分はまだ1年生であと2年もあるから大丈夫と思ってませんか。しかし、2年なんかあつという間に終わってしまいますよ。

このあたりで自分の進路のことについて一度じっくり考えてみませんか？家族と話すのもよし、友達と話すのもよし、先輩にアドバイスをもらうのもよしです！「早く目標を定めて、それに向かって早めに対策を立てること」がとても大切なことだと思いますし、活躍している人の中にはそれを実践している人が多いのではないのでしょうか。

まずは、中間考査に向けての学習計画を立てることから始めてもいいかもしれませんね。

10月の行事予定

6日(金)	生徒総会(6限)
7日(土)	授業日
8日(日)	英語検定(1次)
10日(火)	期末考査1日目
11日(水)	期末考査2日目
12日(木)	期末考査3日目
13日(金)	期末考査4日目
19日(木)	講座(保健委員)
21日(土)	秋季遠足研修
27日(金)	授業日 漢字コンテスト



NIE

連絡

中間考査の時間割です。計画的に試験対策をしてください。

	校時	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組
10日(火)	1	国語総合	現代文	通常授業(3限)			通常授業(3限)	
	2	世界史	世界史					
	3	化学	化学					
11日(水)	1	英表	英表	地学	地学	地学	工・簿	工・簿
	2	古典	古典	世界史	世界史	世界史	地学	地学
	3	数A	数II	中国語会話	中国語会話	中国語会話		
12日(木)	1	日・地	日・地	数・中・英	数・中・英	数・中・英	コミ英	コミ英
	2	物・地	物・地	国語総合	国語総合	国語総合	国語総合	国語総合
	3	数I	数B	英表	英表	英表		
13日(金)	1	生物	生物	数I	数I	数I	数I	数I
	2	コミ英	コミ英	コミ英	コミ英	コミ英	世界史	世界史
	3	NIE講習会(保健委員会)						

学習の仕方、教えます (その2)

学年通信第4号(6月27日発行)に引き続き、今月号も学習の仕方について書いてみたいと思います。



これを読んでいる人の中には、「高校入試も経験したのだから、学習の仕方くらいわかっている」という人もいるかも知れません。しかし、そうではありません。この思い込みが「高校で思ったような成績が出ない」とか「高校に入って成績が下がり始めた」、あるいは「何をやればいいのかわからなくなった」といった問題の原因であることが多いからです。

何故このようなことが起こるのかというと、**中学と高校では求められることが違う**からです。まずは、覚えることが増えるということです。

英語の単語数を比べると、中学卒業時で1200語、中学から高校卒業時で3000語(高校では1800語)といわれていますから、単純に1.5倍ということになります。だから、中学のときには、試験前に一夜漬けで済ませることも可能だった量だったかも知れませんが、高校では一夜漬けではうまくできなくなるのです。したがって、**毎日の家庭学習(授業の振り返り)が重要**になってくるのです。

次に重要な点はなにかみです。中学最初の授業を思い出してもらえばわかるように、最初は新出単語ばかりが並んでいたはずですが、基本的な単語ばかりでした。高校では、単に単語の数が増えるだけではなく、単語自体の文字数も多く、意味や発音などが単純ではないものも増えてきます。**(「隣人」という意味の英単語が書けますか?)**

ここでは英単語を例に書いていますが、他の教科でも同じようなことが求められているのです。それを端的に示すのが入試問題でしょう。



たとえば、高校の入試問題では「**鎌倉幕府が成立した年は何年ですか**」といった質問があり、「1185年」と教科書に書かれているので、そのように答えるだけでよかったのではないかと思います。

(少し前までは、1192年と教えられたのですが・・・)

ところが大学入試では「**鎌倉幕府が成立した経緯と結果について書きなさい**」という具合に出題されたりします。こうした質問に答えるためには、単に覚えるだけではなく、与えられた知識を使って考える事が大切になります。

ですから、**授業においても、静かに聞くのではなく、「なぜだろう」、「他の方法(答え)はないのだろうか」と自分で考えを進めていくような態度が求められる**のです。

さて、これまでは普通の学習についての心構えを書いてきましたが、試験前ですので与えられた時間をどう使ったら効率よく学習できるかについて書くことにします。

次に示す表は「加速学習法実戦テキスト」というコリン・ローズが書いた本に載っている実験結果です。ここでいう勉強の時間は、最初に試験範囲を見直して学習した時間として考え、復習の時間は、くり返し見直した時間と考えればいいと思います。たとえば、勉強の時間80%に対し復習の時間20%というのは、とにかく一通り試験範囲を学習した後に、少しだけ見直しをしたという感じでしょうか。これに対し、勉強の時間20%に対し復習の時間80%というのは、試験範囲を5回繰り返して見直したということです。

勉強の時間	100%	80%	60%	40%	20%
復習の時間	0%	20%	40%	60%	80%
記憶できた言葉の数	65	92	98	105	137



試験勉強の方法は十人十色ですが、この実験結果を見ると、一つ一つ丁寧に学習しておくより、**最初は大まかな理解でいいから何度も繰り返して試験範囲の学習を繰り返す方が、よいよ成績が取れる**ということです。

この学習法を、中間考査に向けて一度試してみてもはどうでしょうか。

(「隣人」を英語で書くと neighbor となります。では、ちゃんと発音できますか?)